

2009年 7月 2日

厚生労働大臣
舩添要一 殿

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

議長 野田 起三郎

NPO法人子宮頸がんを考える市民の会

理事長 前濱 俊之

社団法人ティール&ホワイトトリボンプロジェクト

理事長 河村 裕美

財団法人 日本対がん協会

会長 垣添 忠生

子宮頸がん検診の検診率向上と子宮頸がん予防ワクチンの
早期承認ならびに費用負担軽減策に関する要望書

当4団体は、専門家の立場だけではなく、患者支援団体や市民団体の立場も含め、子宮頸がんの征圧のために協力して様々な活動を行っています。子宮頸がんによって日本女性の命と幸せが奪われることがないように、あらゆる立場の人が子宮頸がんについて正しく理解し、実践につなげることを目指しています。

つきましては、目標を確実に達成するために、以下のとおり要望いたします。

記

- (1) 細胞診とHPV検査を用いるより有効な検診制度を確立すること。
- (2) 現在承認申請中の子宮頸がん予防ワクチンが早期承認されること。
- (3) 女性はその収入や地域によらず、平等に子宮頸がん予防ワクチンを接種できるよう、公費負担や公的医療保険制度による被接種者の費用負担軽減を定めること。

以上